

## 掛川市の医療機関利用者の受診に関する意識調査

|       |  |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2018-03-06<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 林, 由佳, 稲野辺, 奈緒子, 守屋, 治代, 武田, 和子,<br>村松, 篤, 佐々木, 英世, 松本, 敬枝<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.20780/00031842">https://doi.org/10.20780/00031842</a>  |

## 資料（調査用紙）

### I. 掛川市の医療機関利用者の受診に関する意識調査



- 【質問 6】 症状が軽いときには病院に行かず様子を見る。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない
- 【質問 7】 健康診断で精密検査を勧められたら、最初から大きな病院に行く。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない
- 【質問 8】 大病院から診療所・クリニックに変えるのは、心配になる。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない
- 【質問 9】 症状が軽くても最初から大病院にかかるのが安心する。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない
- 【質問 10】 症状が軽ければ、最初は診療所やクリニックを受診する。 ①はい ②いいえ ③どちらともいえない

【質問 11】 あなたやご家族が、1年以内に夜間・休日診療(救急診療)を利用したことがありますか。

どちらかに○をつけてください。

①ある ・ ②ない

「ある」の方は、【質問 12】【質問 13】【質問 14】にお答えください。

【質問 12】 どちらの機関を利用しましたか。○をつけてください。(複数でもかまいません)

- ①中東遠総合医療センター                      ②小笠掛川急患診療所                      ③診療所やクリニック  
(小笠医師会掛川医療センター急患診療室)

【質問 13】 どのような理由で利用をしましたか。当てはまるものに○をつけてください。(複数でもかまいません)

- ①急に症状が出てきて悪くなったため  
②自覚症状がよくなかなかたため、翌日まで待つのが心配になったため  
③自覚症状はなくなったが、翌日まで待つのが心配になったため  
④このままにしておいていいかどうか、判断がつかなかったため  
⑤通常の時間帯は、都合がつかないため  
⑥日中の受診の予約が取れないため  
⑦医療機関が近くなかったため

【質問 14】 通常時間に受診できない理由について、当てはまるものに○をつけてください。

(複数でもかまいません)

- ①仕事のため                      ②通常の診察は待ち時間が長いため                      ③急病のため  
④子供や親の世話のため                      ⑤学校のため                      ⑥日中に車がないため  
⑦午後に診察がないため                      ⑧その他(                      )

IV. 現在掛川市は、『住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるための地域医療体制』を目指し、市内の医療機関や施設の連携を進めています。そこで、過去に厚生労働省が実施した調査と同じ項目を挙げ、掛川市の皆様のお考えやご要望をお聞かせいただきたいと思います。

1. あなたが次のような場合、どこでの療養を希望しますか。当てはまるものに1つのみ○をつけてください。

- 【質問 15】 がんは治らないと診断されたが、少し疲れはあるものの、食事もよく取れ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同じ場合 ①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない
- 【質問 16】 がんは治らないと診断され、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同じ場合 ①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない
- 【質問 17】 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合 ①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない
- 【質問 18】 半年以上はっきりした意識がなく、管から栄養を取っている状態で、衰弱が進んでいる場合 ①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない

2. あなたのご家族が次のような場合、どこでの療養を希望しますか。当てはまるものに1つのみ○をつけてください。

【質問 19】 がんは治らないと診断されたが、少し疲れはあるものの、食事もよく取れ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同じ場合  
①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない

【質問 20】 がんは治らないと診断され、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同じ場合  
①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない

【質問 21】 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合  
①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない

【質問 22】 半年以上はっきりした意識がなく、管から栄養を取っている状態で、衰弱が進んでいる場合  
①医療機関 ・ ②介護施設 ・ ③居宅 ・ ④どちらともいえない

【質問 23】 ご自宅での薬の服用について、困ることがありますか。どちらかに○をつけてください。

①はい ・ ②いいえ

「はい」の方は、【質問 24】にお答えください。

【質問 24】 どのようなことで困ることがありますか。○をつけてください。(複数でもかまいません)

- ①薬をのむことを忘れてしまう。
- ②のまない薬がたくさん残っている。
- ③薬ののみ方がわからなくなる。
- ④薬の効果がよくわからない。
- ⑤薬の副作用が心配になる。
- ⑥薬について相談したいが、どうしていいかわからない。

【質問 25】 今後、あなたやご家族のご自宅での療養について相談したいことがありますか。

どちらかに○をつけてください。 ①はい ・ ②いいえ

【質問 26】 どのようなことを相談してみたいと思いますか。○をつけてください。(複数でもかまいません)

- ①医療機関に通えなくなった時に相談先がわからない
- ②在宅に医師や看護師が来てくれるかどうかわからない
- ③在宅で療養する時の家族の負担
- ④在宅で療養する時の医療費
- ⑤状態が悪くなった時に、すぐに入院できるかどうか心配

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査結果は、来年度、吉岡彌生記念館展示およびご家庭への回覧冊子で、ご報告いたします。

この調査に関する問い合わせ先:

東京女子医科大学看護学部大東キャンパス 守屋治代

TEL:0537-63-2111(代) FAX:0537-63-2134